

エウダイモニアを重視する世界観が 結婚式披露宴の費用に与える影響

慶応義塾大学 経済学部三年
坪田真紀 東田祥利 戸井田美優 佐藤成

Z10

要約

私達は次の仮説を立てて検証を行った。それは、

「エウダイモニアを重要視する人の方が比較的結婚式の披露宴を安く済ませる。」というものである。そして、仮説に対する研究を行った結果、エウダイモニア、その中でも家族との繋がりを重視した実験対象者は、披露宴の費用を安くし、エウダイモニアの中でも自己の成長を重視した実験対象者は、披露宴の費用を高くした。つまり、個々の持つエウダイモニアの中でも家族を重視する世界観と自己の成長を重視する世界観のどちらもが披露宴の金額に影響を与えており、これらの世界観がバランスを取ってそれぞれの披露宴の費用を決定しているということが推測される。この事実が社会に役立つ理由として、ウェディング関係の業者が、依頼者に適した披露宴の価格の提示が出来ることで、依頼者がより満足のいく披露宴を行うことが可能になる事が考えられる。また、社会的な意義としては、国や企業がエウダイモニアを重視する人々に安価な披露宴を提供できるようプロモーションすれば、日本の早婚化を促すことが出来るという点が挙げられる。

研究方法は、研究仮説に基づき、(1) エウダイモニアをどの程度重視しているかを問う質問と、(2) 結婚式の披露宴にいくらかけるかを問う質問、とからなるアンケート調査を行った。次に、アンケート結果から回帰分析を行い、(1)と(2)の相関関係を調べ二つの関係性が有意であるかどうかを判定した。

キーワード：エウダイモニア、結婚披露宴、家族との繋がり

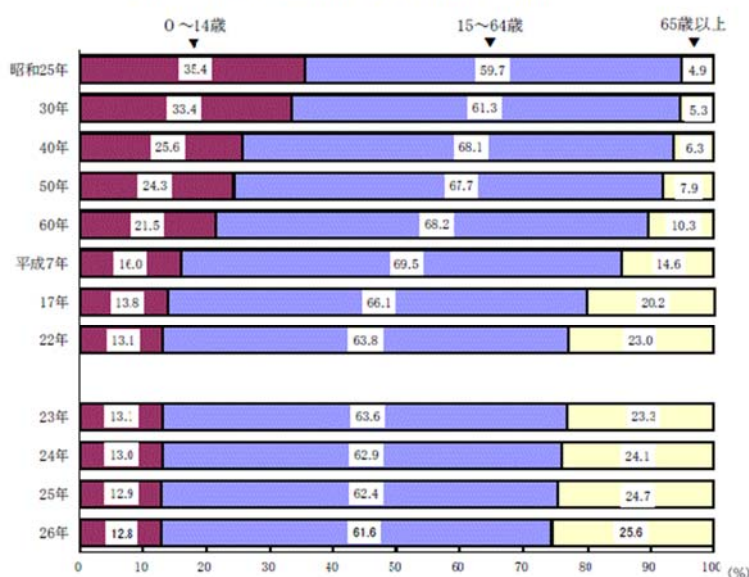
1.序文

1-1 問題提起

近年、日本では少子高齢化問題が年々深刻化しており（図1）、歯止めをかけるために様々な試案がなされている。趙形他(2014)によると厚生労働省の人口動態調査の分析より、少子化問題の根底にあるのは晩婚化・未婚化問題であると言及されている。

そのため、私達はその少子高齢化の原因の一因である晩婚化という問題に着目した。現状として平成26年における平均結婚年齢は夫31.1歳、妻29.4歳となっている。（2015年、人口動態調査）過去と比較すると、昭和22年に比べ夫は5.0歳、妻は6.5歳上昇しており、夫・妻とも晩婚化が進んでいる。また、平均再婚年齢をみると、昭和22年では夫36.5歳、妻29.3歳であったが、平成26年には夫42.8歳、妻39.6歳となり、年々上昇傾向にある。晩婚化の主な原因は女性の社会進出などがあるが、結婚式費用の余裕がないからという理由も見受けられる。また結婚披露宴などは近年行わない結婚式も増えており、従来のような大がかりな披露宴だけではなくなっている。ウェディング業界では結婚式の小規模化に伴い、業界の将来を不安視する声もある。（ゼクシィ結婚トレンド調査2014）

図2 年齢3区分別人口の割合の推移



資料：「国勢調査」による人口及び「人口推計」による人口

注）平成25年及び26年は4月1日現在、その他は10月1日現在

【図1】年齢別人口割合の推移

出典：総務省統計局統計データ

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi821.htm>

2. 研究仮説

上の問題提起から、一体、どのような人が披露宴にお金をかけないのか、またどのような人が従来の披露宴を好むのかという疑問にたどり着いた。私達は、目に見える華やかさに幸福を感じるよりも、自身の内面での幸福を喜ぶ人は披露宴にお金をかけないのではないかと考え、研究仮説を立てた。研究仮説は「エウダイモニアを重要視する世界観をもつ人は、結婚披露宴を安く済ませる。」というものである。以下に先行研究を説明したのち、研究仮説についての研究方法と結果、考察を述べる。

先行研究「ゲマインシャフトの世界観が結婚、特に披露宴という経済行動に与える影響」(出典：奥山ら 2011)においては、ゲマインシャフトの世界観が強い人ほど慣習的、儀式的な披露宴の形態をとることが述べられているが、ゲマインシャフトと披露宴の費用については言及されておらず、披露宴の費用と世界観の関係性を調査したのは本研究が初めてである。

3. 研究方法

研究仮説に基づき、エウダイモニアを重視する世界観を持っているかの質問と、結婚式の披露宴にいくらかけるかを聞く質問をからなるアンケート調査を行った。また、披露宴にかかる費用を説明変数、エウダイモニアの重視度を測る質問を被説明変数とし、回帰分析を行う事で相関関係を調査した。

エウダイモニアに関しては、本研究のテーマである結婚とエウダイモニアについて分析している先行研究は管見の限り見当たらなかった。そこで今回私達はエウダイモニアの定義として大垣他(2014)によって定義されたものと同様に「①共同体への貢献によって得られる充実感②自己の成長によって得られる充実感③家族への貢献によって得られる充実感」の3つの要因に分解した。

共同体に貢献する喜びを聞く質問として質問 4 を、共同体に所属する事にどのくらい充実感を感じるかを聞く質問として質問 1、2、5 を、家庭を重視するかを聞く質問として質問 3 をおき、自己の成長にどのくらい充実感を感じるかを聞く質問として質問 6、7、8 をおいた。また、結婚式の披露宴にどのくらいのお金をかけるかを聞く質問として質問 11 をおいた。さらに、結婚式の披露宴にかかる金額に影響を与える要素として、エウダイモニアを重要視する世界観以外に、見栄を張るとい感情が関わっていると考えた。そこで、見栄をどのくらい張るかを聞く質問として質問 9、10 をおいた。(全ての質問は 6 段階評価で構成した。)

以下に質問方法を述べる。私たちは社会人など、結婚が身近に迫った人に披露宴について聞くと、それぞれの経済力などの要素が大きく絡んでしまうと考えるため、結婚がまだあまり身近でなく、経済力に大きなバラつきがないと考えられる大学生の男女に限定してアンケートをとった。アンケートは、グーグルフォームを用いて作成し、無料通話アプリ LINE を用いて拡散した。アンケートを拡散する対象はできるだけ多くのコミュニティーにし、特定のコミュニティーに集中することを避けた。その結果 82 人分の回答が集まった。

4-1 結果

アンケート質問 3 の「家族のために掃除や洗濯などの家事を手伝うことにどれくらい充実感を感じますか」の回答と、質問 11 の「あなたが結婚式の披露宴を開くとしたらどのようなものにしますか」の回答の回帰分析の結果は、P 値が 0.059*となり、有意水準 10%で有意であった。さらに係数は負の値であった。(表 1 参照) また、アンケート質問 7 の「今できないことをできるようになることにどれくらい充実感を感じますか」の回答と、質問 11 の回答の回帰分析の結果は、P 値が 0.0411**となり、有意水準 5%で有意であった。また、係数は正の値だった。(表 2 参照) さらに、エウダイモニアの項目ごとに一つずつ質問を選び、披露宴にかかる金額の質問の回答とともに重回帰分析をしたところ、家族をどのくらい重視するかを聞いた質問 3 のみが P 値が 0.098962*となり、有意であった。(表 3 参照)

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	4.797674	0.389355	12.32211	3.59E-20	4.022833	5.572516	4.022833	5.572516
X 値 1	-0.18721	0.098089	-1.90856	0.059905	-0.38241	0.007995	-0.38241	0.007995

【表 1】 質問 3 と質問 11 の回帰分析結果

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	2.653846	0.698367	3.800076	0.000281	1.264052	4.04364	1.264052	4.04364
X 値 1	0.270471	0.130288	2.075959	0.04111	0.011191	0.529752	0.011191	0.529752

【表 2】 質問 7 と質問 11 の回帰分析結果

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%	
切片	3.394885	0.867824	3.911951	0.000198	1.666464	5.123307	1.666464	5.123307	
X 値 1	-0.01884	0.117847	-0.15984	0.873435	-0.25355	0.215877	-0.25355	0.215877	質問1
X 値 2	-0.22392	0.104087	-2.15129	0.034631	-0.43123	-0.01661	-0.43123	-0.01661	質問3
X 値 3	-0.07217	0.095341	-0.75697	0.451406	-0.26206	0.117718	-0.26206	0.117718	質問4
X 値 4	0.380032	0.143663	2.645309	0.009913	0.093903	0.666161	0.093903	0.666161	質問7
X 値 5	-0.02235	0.09006	-0.24812	0.80471	-0.20172	0.157024	-0.20172	0.157024	質問10

【表 3】 質問 1,3,4,7,10 と質問 11 の重回帰分析結果

4-2 考察で聞いた、出来るようになる喜びが大きい人、つまり自己の成長を重視する人は、達成感を強く感じ、人生の節目である披露宴で、達成感を表せるような披露宴を望む結果、高額な披露宴を行うと考察した。

また、質問 3 と 11 の回帰分析、重回帰分析の結果から、家庭を重視する世界観を持つ人は、仮説通り結婚式の披露宴の額を下げることにについて、私たちはその理由がまず、家族を大切にすることは、披露宴という一日のイベントにお金を掛けすぎることなく、結婚式後の家族の生活のための貯金に回すのではないかと考察した。また、披露宴の金額を被説明変数、自己の成長をどの位重視するかと家族をどのくらい重視するかを説明変数として重回帰分析を行った結果、自己の成長のエウダイモニアが披露宴の金額を上げ、家族のエウダイモニアが披露宴の金額を下げるという結果を得たが、家族を重視する人、つまり利他的な人はお金儲けを重視しないために所得がそもそも低くなる傾向があり、その結果披露宴の金額が安くなると考えられる。

さらに、見栄をどの程度張るかの質問の回答と、披露宴にかかる費用を問う質問の回答の回帰分析の結果が有意でなかったこと理由は、披露宴と言われてまず考えるのは友人のコミュニティではなく家族であるためであると考察した。友人に対して見栄を張る人でも、家族に対して見栄を張るとは考えづらい。

5. 結論

本研究より、エウダイモニア、その中でも家族との繋がりを重視することは、披露宴の費用を安くし、エウダイモニアの中でも自己の成長を重視することは、披露宴の費用を高くする。つまり、個々の持つエウダイモニアの中でも家族を重視する世界観と自己の成長を重視する世界観のどちらもが披露宴の金額に影響を与えており、これらの世界観がバランスを取ってそれぞれの披露宴の費用を決定しているということ判明した。このことから、家庭を重視する人は結婚式の披露宴に多額の費用をかけないため、それ以外の人よりも早婚できる可能性が高い。よって上記の世界観を持つ人に対し、より重点的に早婚を促進することで、国や地方自治体は効率的に晩婚化問題を解決できるのではないかと。

また、本研究の課題点としては五つある。一つ目は、集まった回答数が少ないこと。二つ目は、有意な結果が出た質問が二組のみであったこと。三つ目は有意な結果が出た家族を重視する世界観を聞く質問が一つだけであり、質問を増やして多角的に分析するべきであること。四つ目はエウダイモニアを重視する世界観以外の披露宴にかかる金額に影響を与える要因、例えば宗教や性差、などを取り除ききれなかったことである。五つ目は回答を行った大学生が慶應大学の学生に限られてしまったため、回答に偏りがあることである。

一つ目から三つ目の課題は改善の余地が大いにあるが、四つ目の課題である、他の要因を全て取り除ききることに限界があり、五つ目の課題である回答の偏りに関しては学生の力では全国の学生から回答を得ることは難しい。今後はこの五つの課題に対し最善を尽くして研究を続けたい。

参考文献：

①総務省統計局統計データ

(<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi821.htm>)

②厚生労働省人口動態調査データ

(<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi821.ht>)

③行動経済学 (2014 大垣昌夫・田中沙織)

④内閣府少子化対策 (2014 趙形他)

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

⑤ゼクシィ結婚トレンド調査 2014

(<http://fam-wedding.com/kyoshikinomi/>)

付録

大垣ゼミ 4 班アンケート

質問 1.友人と同じ時間を共有することにどのくらい充実感を感じますか *

全く感じない

1

2

3

4

5

6

とても感じる

質問 2.一度サークルなどの共同体に属したら、辞めずに続けたいですか *

全くそう思わない

1

2

3

4

5

6

とてもそう思う

質問 3.家族のために掃除や洗濯などの家事を手伝うことにどれくらい充実感を感じます

か *

全く感じない

1

2

3

4

5

6

とても感じる

質問 4.サークルのために、人から見えないところでの荷物運びなどの雑用を一人でこなすことにどれくらい充実感を感じますか *

全く感じない

1

2

3

4

5

6

とても感じる

質問 5.運動会のためにクラスの仲間と一致団結して練習しましたが、結果は最下位でした。練習を頑張ったことを無駄だと思いますか *

時間をかけて練習したのだから当然無駄だと思う

1

2

3

4

5

6

全く無駄でなく、充実した時間だった

質問 6.若いうちの苦労は買ってでもしたいと思いますか *

全く思わない

1

2

3

4

5

6

とても思う

質問 7.今できないことをできるようになることにどれくらい充実感を感じますか *

全く感じない

1

2

3

4

5

6

とても感じる

質問 8.あなたは実用書と小説をどのくらいの割合で読みますか *

実用書しか読まない

1

2

3

4

5

6

小説しか読まない

質問 9.自分が注目されていないとつい気を引きたくくなりますか *

全くならない

1

2

3

4

5

6

とてもなる

質問 10.自分を見栄っ張りだと思ふことがありますか *

全くない

1

2

3

4

5

6

よくある

質問 11.あなたが結婚式の披露宴を開くとしたらどのようなものにしますか*

披露宴は行わない

ウエディングドレスを着て写真撮影のみ

披露宴は行うが、近場で安いところを探す

平均的な披露宴を行う(国内ホテルなど)

平均より少し豪華な披露宴を行う(国内高級ホテルなど)

平均より大変豪華な披露宴を行う(国内超高級リゾートホテルなど)